

## 遠隔医療によるモバイルクリニック事業について

伊那市企画部

伊那市は、MONET Technologies 株式会社（モネ・テクノロジーズ、本社：東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO：宮川 潤一、以下「MONET」）および株式会社フィリップス・ジャパン（本社：東京都港区、代表取締役社長：堤 浩幸、以下「フィリップス」）との協業により、医療×MaaSを実現するための、医療機器などを搭載した車両である「INA ヘルスモビリティ」を開発しました。この「INA ヘルスモビリティ」は、伊那市が推進するモバイルクリニック実証事業において、2019年12月12日からテスト運行を開始し、オンライン診療をはじめとする機能の有効性を検証します。

本実証事業は、2019年5月14日にMONETが伊那市と締結した、次世代モビリティサービスに関する業務連携協定に基づく取り組みの第1弾として行うものです。12月12日（木）にはフィリップスとも連携協定を締結し、実証事業期間（～2021年3月末）において、地元開業医との連携を通じてオンライン診療を中心としたヘルスマビリティの実証を行います。また、本実証事業で得た知見を基に、「ヘルスマビリティ」を活用した医療×MaaSの取り組みを全国のモデルケースとして展開していく予定です。



## 「ヘルスマビリティ」について

---

「ヘルスマビリティ」は、医療機器などを車内に搭載し、医療従事者との連携によってオンライン診療などを行うことができる車両です。看護師が車両で患者の自宅などを訪問することで、車両内のビデオ通話を通して医師が遠隔地から患者を診察できるようにし、看護師が医師の指示に従って患者の検査や必要な処置を行うことを想定しています。車両は MONET の配車プラットフォームと連携しているため、効率的なルートで患者の自宅などを訪問することができます。

なお、「ヘルスマビリティ」は、主に下記の機能を搭載しています。

### (1) スケジュール予約

患者と医師が合意したオンライン診療のスケジュールに応じて、現地（患者の自宅など）に向かう看護師が、スマホアプリから配車の予約をすることができます。

### (2) 診察

心電図モニターや、血糖値測定器、血圧測定器、パルスオキシメーターおよび AED などの診察に必要な医療機器を車両に搭載しています。

### (3) オンライン診療

ビデオ通話を通して、医師が患者の問診や看護師の補助による診察を行えるほか、医師から看護師へ指示を出すことができます。

### (4) 情報共有クラウドシステム

医療従事者間の情報共有を目的に、車両内に設置されたパソコンで患者のカルテの閲覧や訪問記録の入力・管理を行うことができます。

情報共有クラウドシステムは、株式会社インターネットイニシアティブジャパン（IJJ）の「IJJ 電子@連絡帳サービス」を利用します。

実証期間	2019 年 12 月 12 日（木）～2020 年 3 月 31 日（火）
運行エリア	伊那市内
運行車両	「ヘルスケアモビリティ」1 台
実証内容	伊那市、MONET およびフィリップスの関係者で、「ヘルスマビリティ」の最適な運用方法を検証するテスト運行を行います。その後、運用や安全などの確認ができ次第、近隣の医療従事者や慢性疾患を持つ患者の方に協力していただき、実証を行います。
実施主体	伊那市